

競技規則問題 テクニカルオフィシャル審査 ①



- 1 白チームのゴールキーパー1番が止めたボールは、自動終了の合図の直前に、アウトゴールラインからそのまま外に出た。レフェリーは、競技が5分早く終了したことに気づいた。プレーヤーがコート上に残っている場合、どのようにして競技を再開するか。
- (a) 白チームのゴールキーパースロー
 - (b) 白チームのフリースロー
 - (c) 笛の合図なしに
 - (d) 笛の合図の後に
- 2 競技の終了直前に、黒チームの2番が白チームのゴールエリアライン付近でボールをキャッチして、明らかな得点チャンスを得た状態でシュートを打とうとしたが、違反により妨害された。黒チームの2番がボールを手から離す前に、自動終了の合図があった。
- (a) 競技の終了
 - (b) 黒チームのフリースロー
 - (c) 黒チームの7mスロー
 - (d) 競技の終了とし、記録用紙にその旨を記載
- 3 競技の終了合図の後、黒チームがフリースローを行おうとしていた。スローの実施前に、白チームの8番と白チームの9番が同時にコートから出て交代地域へ戻った。代わりに白チームの10番が、その直後に白チームの11番がコートに入場した。
- (a) タイムキーパーは、笛を吹いて白チームに不正交代があったことを告げる
 - (b) 白チームの10番を、不正交代により2分間退場とする
 - (c) 白チームの11番を、不正交代により2分間退場とする
 - (d) 違反はないので、タイムキーパーは笛を吹かない
 - (e) 白チームの11番は交代地域に戻らなければならない。白チームの8番または白チームの9番のどちらかは、コートに戻ることができる

- 4 白チームの 9 番がシュートしたボールを、黒チームのゴールキーパー 12 番がキャッチした。ちょうどそのときに自動終了合図があったが、レフェリーは後半がまだ 30 秒残っていることをタイムキーパーに指摘した。すべてのプレイヤーはコート内に残っている。どのような方法で競技を再開するか。
- (a) 黒チームのフリースロー
 - (b) 黒チームのゴールキーパーズロー
 - (c) 白チームのフリースロー
 - (d) 笛の合図の後に
- 5 黒チームの 8 番はすでに警告となっていた。チームタイムアウト中に黒チームの 8 番は、ベンチに座りながらスポーツマンシップに反する態度でレフェリーに話しかけた。
- (a) レッドカードを示し、黒チームの 8 番を失格とする
 - (b) 黒チームの 8 番を、2 分間退場とする
 - (c) 黒チームの 8 番を、警告とする
 - (d) 罰則の適用は不可能
 - (e) チームタイムアウト終了後、競技の再開から 2 分間、黒チームはコート上のプレイヤーを、1 名減らす
- 6 前半の終了直前に白チームの 7 番は、黒チームの 5 番への暴力行為により明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に、自動終了の合図があった。
- (a) 前半を終了とする（罰則は不要）
 - (b) レッドカードを示し、白チーム 7 番を失格とする（報告書は不要）
 - (c) 黒チームの 7 m スロー
 - (d) 黒チームのフリースロー
 - (e) レッドカードとブルーカードを示し、白チーム 7 番を報告書を伴う失格とする
 - (f) 後半開始から 2 分間、白チームはコート上のプレイヤーを、1 名減らす

7 前半が1分早く終了した。そのとき競技規則に違反はなく、ボールはゴールエリア上空にあった。終了の合図の後、ゴールキーパーがボールをキャッチした。両チームのプレイヤーは、まだコート内に残っていた。

- (a) その1分は、実施しない
- (b) その1分は、休憩時間の前に実施する
- (c) その1分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する
- (d) その1分は、後半の競技時間に付加する
- (e) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する
- (f) ゴールキーパーで競技を再開する

8 チームタイムアウトに関する正しい記述はどれか。

- (a) チーム責任者だけが、チームタイムアウトを請求できる
- (b) 相手チームがボールを所持しているときにチームタイムアウトの請求があったなら、タイムキーパーはチーム役員にグリーンカードを返さなければならない
- (c) 1分間のチームタイムアウトは、タイムキーパーが笛を吹いたときから計測し始める
- (d) チームタイムアウト中の違反は、競技時間中の違反と同等に判定する
- (e) チームタイムアウト終了後は常に、チームタイムアウトを請求したチームのスローで競技を再開する

9 白チームがボールを所持しているときに、チームタイムアウトを請求した。しかし場内が騒がしかったため、両レフェリーはタイムキーパーの笛の合図に気が付かなかった。10秒ほどして黒チームがボールを所持したときに、ようやくレフェリーは笛の合図に気が付いた。

- (a) チームタイムアウトを認める
- (b) 黒チームのフリースローで競技を再開
- (c) チームタイムアウトは認められない
- (d) 白チームのフリースローで競技を再開

10 白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ちょうどそのとき、白チームの 9 番が黒チームのゴールにシュートを打った。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いたとき、ボールは空中にあった。笛の合図の直後、黒チームのゴールキーパー 12 番は、ボールをキャッチした。

- (a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない
- (b) 白チームのチームタイムアウト
- (c) 白チームにグリーンカードを返す
- (d) 黒チームのゴールキーパー스로ーで競技を再開
- (e) 白チームのフリースローで競技を再開

11 白チーム 11 番は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。

- (a) 白チームの 11 番は交代できない
- (b) 相手チームが了承すれば、白チームの 11 番は交代できる
- (c) 通常、白チームの 11 番は、記録用紙に記載した名前を変更し交代できる。
また、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけてもよいが、レフェリーは、各大会における特別な規定を守らなければならない場合もある
- (d) 白チームの 11 番は交代できるが、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけることはできない

12 白チームが速攻で明らかな得点チャンスを得たとき、黒チームの 3 番が不正交代をした。タイムキーパーとスコアキーパーはこれに気づかなかったが、コートレフェリーはこれに気づき、競技を中断した。

- (a) 直ちに黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームのフリースローとする
- (b) 直ちに黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームの 7 m スローとする
- (c) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームのフリースローとする
- (d) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、競技の中断の状況に相応しいスローで競技を再開

13 競技の開始時、白チームは6名のプレーヤーしかいなかったが、競技開始直後に、白チームのプレーヤー7番が遅れて会場に到着した。白チームの7番はそのまま自陣の交代地域を通過してコート内に入った。白チームの7番は、記録用紙に記載されていない。

- (a) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの7番を失格とする
- (b) 白チームの7番を2分間退場とし、記録用紙に追加で記載しなければならない
- (c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの7番を記録用紙に追加で記載しなければならない
- (d) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

14 プレーヤーの負傷によるタイムアウト中に、レフェリーが入場許可を与えていないにもかかわらず、白チームの2番がコート内に走り込んだ。

- (a) 白チームの2番を、警告とする
- (b) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (c) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの2番を、失格とする
- (d) 白チームの2番を2分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを2分間1名減らす

15 出血しているプレーヤーがコート内にいる場合、正しい記載は次のうちどれか。

- (a) 出血しているプレーヤーは、自主的に速やかにコートから出なければならない
- (b) 次の競技の中断まで、出血しているプレーヤーはコート内にいてもよい
- (c) 出血しているプレーヤーと交代するプレーヤーは、交代ラインを通らずにコート内に入ってもよい
- (d) 次の競技の中断まで、そのプレーヤーは再びコートに入ることができない
- (e) 出血しているプレーヤーが、コートから出るようにというレフェリーの指示に従わない場合、スポーツマンシップに反する行為として罰則を適用しなければならない

16 黒チームのスローオフ直後、レフェリーは記録用紙に記載されていない人物 F が黒チームの交代地域にいるのに気づいた。F は黒チームの理事の一人であることが判明したが、記録用紙にはすでに別の 5 名のチーム役員が記載されていた。

- (a) F は交代地域から去らなければならない
- (b) 黒チームのチーム責任者に、罰則を適用する
- (c) 余計なチーム役員 1 名が、交代地域から去らなければならない
- (d) 相手チームのフリースローで競技を再開する
- (e) 黒チームのフリースローで競技を再開する

17 白チームのチーム役員 C は、抗議によりすでに警告となっていた。その後、スポーツマンシップに反する態度ではなかったものの、白チームのチーム役員 B がレフェリーの許可を得ずにコート内に入場した。

- (a) 白チームのチーム役員 B を、警告とする
- (b) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、チーム役員 B は 2 分間、交代地域から去らなければならない
- (c) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームのチーム役員 B を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
- (d) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。チーム役員 B は、交代地域に留まることができない

18 競技時間がすでに終了しているにもかかわらず、公示時計の自動終了合図が作動しなかった。タイムキーパーはトラブルに気づいておらず、この事態に反応していなかった。この場合、誰が競技終了の合図をするか。

- (a) スコアキーパーのみ
- (b) コートレフェリーのみ
- (c) TO のみ
- (d) どちらか一方のレフェリーのみ
- (e) タイムキーパーのみ
- (f) タイムキーパー、TO、レフェリーのどちらか

19 白チームのゴールキーパー12番は、黒チームのシュートを止めた後に膝を負傷し、横たわっている

- (a) コート上での治療の後、白チームの12番は、そのまま競技を続けることができる
- (b) 一方のレフェリーがジェスチャー15と16を示した後、参加資格のある者のうち白チームの2名が、コート上での治療行為のためコート内へ入場できる
- (c) 一方のレフェリーがジェスチャー15と16を示した後、参加資格のある者のうち白チームの1名だけが、コート上での治療行為のためコート内へ入場できる
- (d) コート上での治療の後、白チームの12番は、自チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るることができる
- (e) 攻撃回数にかかわらず、休憩時間後の後半には、白チームの12番はコートに戻るることができる
- (f) もしもチーム役員が、白チームの12番への必要な処置を拒否した場合、チーム責任者に対して段階的罰則を適用する

20 白チームの5番が負傷したため、コートレフェリーはタイムアウトを取り、白チームの5番の救護のため、白チームにコート内への入場許可を与えた。黒チームのチーム役員Bもまた、自チームのゴールキーパーに指示するためにコート内に入った。

- (a) 問題はない。なぜならコート内への入場を許可する合図は、両チームのプレーヤーとチーム役員の全員に適用されるからである
- (b) 黒チームのチーム役員4名全員を警告とし、その違反を繰り返した場合は失格とする
- (c) 黒チームのチーム責任者を、警告とする
- (d) 黒チームのチーム役員Bに、段階的罰則を適用する
- (e) コート上での治療行為を受けた後、白チームの5番は速やかにコートを出なければならない。白チームの5番はその後、自チームが3回の攻撃を終えた後、コート内に戻るることができる

2 1 ユニホームに関する正しい記述はどれか。

- (a) 各チームのゴールキーパーとして出場するすべてのプレイヤーは、同色のユニホーム（シャツ）を着用しなければならない
- (b) 縦が 20 cm 以上の胸番号と背番号を、ユニホームにつけなければならない
- (c) ゴールキーパーは、柔らかい素材でできた頭部用プロテクターをつけてもよい
- (d) （ゴールキーパーを含めて）プレイヤーは、1 から 100 番までの好きな番号を使ってよい

2 2 競技規則にはタイムキーパーとスコアキーパーの役割分担について、どのように示されているか。

- (a) 交代プレイヤーの出入場の管理は、タイムキーパーのみが行う
- (b) 必要が生じたとき、通常タイムキーパーが競技を中断すべきである
- (c) もしも交代のためのプレイヤーが不正入場したならば、スコアキーパーは笛を吹いて合図しなければならない
- (d) もし公示時計がなければ、タイムキーパーはどれだけ競技時間が経過したか、または、競技時間がどれだけ残っているかを両チームに知らせる
- (e) プレイヤーがコート上で治療を受けた後、再入場までの攻撃回数の管理（3 回カウント）は、タイムキーパーとスコアキーパーの共通の任務である

2 3 ボールを持った白チームの 3 番は、黒チームのゴールに向かって速攻を仕掛け、明らかな得点チャンスを得ている。白チームの 3 番がジャンプシュートを打とうとしたとき、観客席から笛が鳴った。そのため白チームの 3 番は、シュートを打たずにゴールエリア内でボールを持ったまま立ち止まった。

- (a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー
- (b) 白チームの 7 m スロー
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースロー
- (e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

24 レフェリーが白チームに7 m スローを判定した後、7 m スローを行うように指示された白チームの27番が、不正交代をした。

- (a) 相手チームのフリースロー
- (b) 白チームの7 m スロー
- (c) 相手チームのゴールキーパーズスロー
- (d) 白チームの27番を、2分間退場

25 センターラインから、チームベンチの始端までの距離はどれだけか。

- (a) 1 m
- (b) 2 m
- (c) 3 m
- (d) 3.5 m

26 【本問題は記述式での解答となります】

両レフェリーによる協議中や負傷者の対応中、モップなどを使用したコートコンディションの整備中、あるいはレフェリーがVR（ビデオ判定システム）を使用しているなど、競技が一定時間中断している際に、TOとして行うべき重要な任務は何か、答えなさい。

※ 自由記述とし、文字数の制限はありません。

※ 解答は、解答用紙裏面に記入してください。